

数学の世界に親しんで

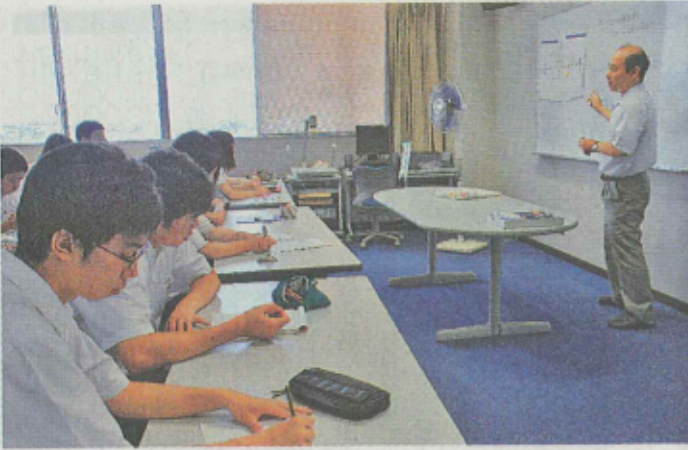
弘前で
公開講座
中高生ら楽しく学ぶ

弘前大学が主催する日、同大で開かれ、市公開講座「夏休みの数内外から参加した中学2013」が3、4生や社会人ら25人が数学の世界に親しんだ。

同講座は毎年、数学を身近に感じ、興味を持つてもらおうと開催している。3日は、大学院理工学研究科数理学科の永瀬範明准教授が「コイン投げからランダム・ウォークへ」のテーマで実施。講座では投げたコインの裏表の結果で進む方向を決め、左右に進む確率などを導き出した。また、サイコロを振って1、2は右へ、3、6は左へ進む条件では、どのようなハンディを設ければ互角の勝負になるかーなどを分かりやすく解説。出席者は興味深げに永瀬准教授の話に聞き入りながらメモを取った。

4日は、同数理学科の中里博教授が「科学の古典を読む」をテーマに講義を行った。

(山本恵子)



参加者が数学の面白さに触れた公開講座

※この記事は、陸奥新報社提供です。

無断転載はできません。

[問い合わせ先]弘前大学理工学研究科

jm3505@cc.hirosaki-u.ac.jp